

Russell/Nomura 日本株インデックス パフォーマンス・レビュー

07年8月は、引き続き市場全体は下落し、グロース株の有効性が持続

Russell/Nomura Prime 指数（米ドル建て）は前月末より 3.29%下落した。有効なスタイルは、グロース株や大型株であった。リビジョン・インデックスは、4.52 と前月のマイナス水準からプラスに転じた。

- 【グロースの優勢傾向は続く】2007年8月の Russell/Nomura Prime 指数（米ドル建て）は、前月比 3.29%の下落となった。スタイル別では、バリュー株のパフォーマンスが悪化した影響もあり、前月に続きグロース株が有効であった。
- 【リビジョン・インデックスは 4.52】個別銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスは、4.52 となり、前月のマイナス水準からプラスに転じた。
- 【空運業のパフォーマンスが良好】Russell/Nomura Prime 指数における業種別では空運業、次いで情報・通信業が高い月次リターンを示した。
- 【KDDI (9433) などの寄与度が高い】Russell/Nomura Prime 指数構成銘柄で見た寄与度ランキングでは、KDDI (9433) が最上位となった。次いで、エヌ・ティ・ティ・ドコモ (9437) となっている。一方、マイナス寄与度が高かったのは、三菱UFJフィナンシャル・グループ (8306) となっている。

スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	割安 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23
順位	200704	200705	200706	200707	200708	投資スタイル対称指数						
1	成長 -0.13	コア 5.16	小型 2.12	小型 -3.58	成長 -4.48	市場	Russell/Nomura Prime					
2	市場 -0.67	成長 4.06	成長 1.46	成長 -3.65	市場 -5.53	コア	Russell/Nomura Top Cap					
3	コア -0.94	市場 3.25	市場 1.19	市場 -3.87	コア -5.94	割安	Russell/Nomura Large Cap Value					
4	小型 -0.97	割安 3.25	割安 0.72	コア -4.10	割安 -6.30	成長	Russell/Nomura Large Cap Growth					
5	割安 -1.25	小型 -0.04	コア 0.65	割安 -4.15	小型 -7.20	小型	Russell/Nomura Small Cap					

(注) リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

2007年9月5日
クオンツレポート

カテゴリー

インデックス・リサーチ

野村証券
金融工学研究センター

石毛 洋子

田村 浩道

03-3274-1079

arai-1ms4@jp.nomura.com

野村証券株式会社 金融工学研究センター 〒100-8130 東京都千代田区大手町2-2-2 アーバンネット大手町ビル

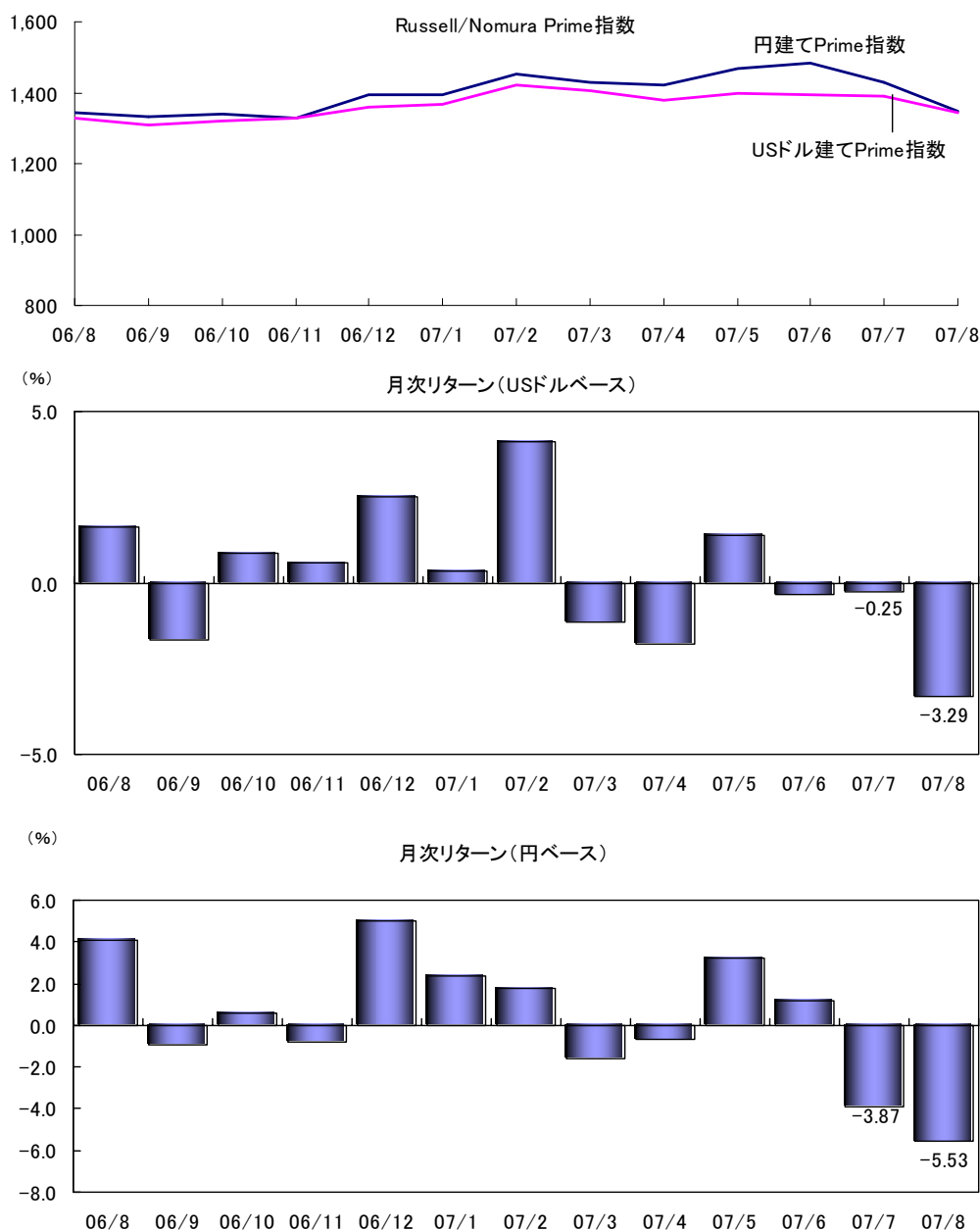
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

1. Russell/Nomura 日本株インデックスパフォーマンス概況

07年8月のPrime指数(米ドル建て)は、3ヶ月連続下落

2007年8月は、日本株式市場の動きを示す Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)が前月比-3.29%となった。これを受けて、6月から3ヶ月連続の下落傾向を示すという結果となった。8月末時点の為替レート(月末終値、出所：日本銀行)は、7月末時点の118.99円から116.24円となった。円建てベースでは、前月比5.53%の下落となった(図表1)。

図表1 Russell/Nomura Prime 指数月次パフォーマンス



(注) リターンは配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

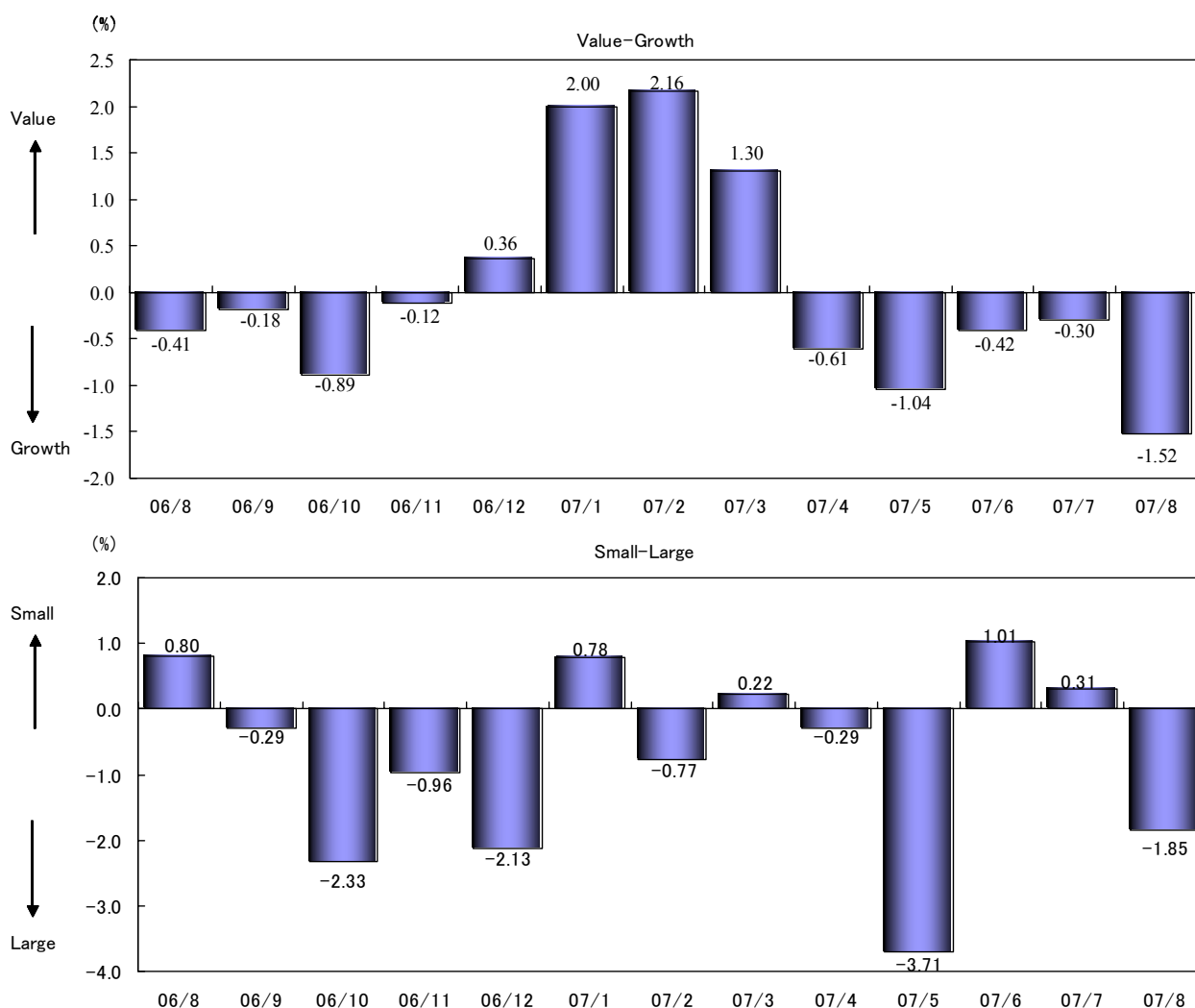
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

市場全体は下落する中 グロス株の下げ幅が 小さい

図表 2 に、スタイル別のリターン・スプレッドを示している。また、図表 3 は、市場、コア（時価総額上位 50%以上）、割安（大型・バリュース株）、成長（大型・グロス株）、小型といった 5 つのスタイル区分による月次リターンのランキングを表している。なお、ここでのパフォーマンスの算出には、円建てベースの数値を採用している。

2007 年 8 月は、市場全体が下落する中、相対的にみれば、引き続きグロス株が良好なスタイルであった。特に 8 月は、バリュース株のパフォーマンス悪化が顕著となり、バリュース株が 6.37% の下落に対しグロス株は 4.84% の下落に留まる結果になった。バリュース株とグロス株のスプレッド・リターンは -1.52% となり、2007 年 4 月よりグロス株が有効な傾向が続く中でも、最大のマイナス幅となっている。また、小型株と大型株のスプレッド・リターンは -1.85% であり、再び大型株が小型株のパフォーマンスを上回った。

図表 2 スタイル別パフォーマンス



(注) Value-Growth は Value と Growth のリターンの差、Small-Large は Small と Large のリターンの差である。

リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

図表3 スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23
順位	200704	200705	200706	200707	200708	投資スタイルと対応指数						
1	成長 -0.13	コア 5.16	小型 2.12	小型 -3.58	成長 -4.48	市場	Russell/Nomura Prime					
2	市場 -0.67	成長 4.06	成長 1.46	成長 -3.65	市場 -5.53	コア	Russell/Nomura Top Cap					
3	コア -0.94	市場 3.25	市場 1.19	市場 -3.87	コア -5.94	割安	Russell/Nomura Large Cap Value					
4	小型 -0.97	割安 3.25	割安 0.72	コア -4.10	割安 -6.30	成長	Russell/Nomura Large Cap Growth					
5	割安 -1.25	小型 -0.04	コア 0.65	割安 -4.15	小型 -7.20	小型	Russell/Nomura Small Cap					

(注) 単位は%。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

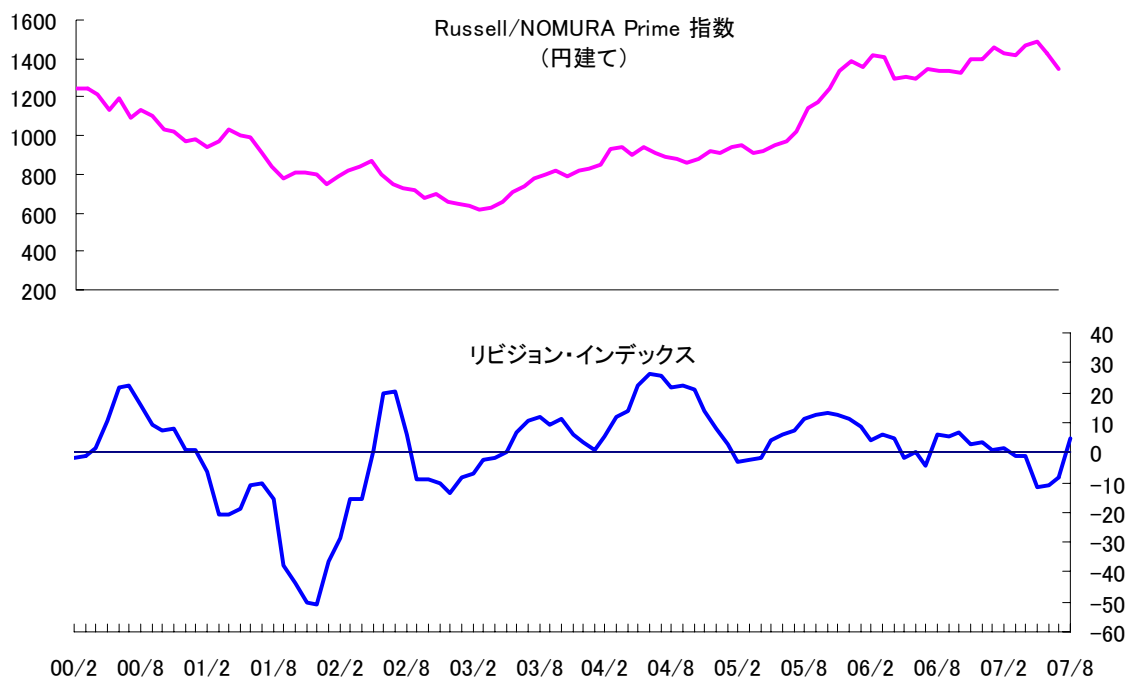
(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

リビジョン・インデックスは4.52と、プラス水準に転じる

Russell/Nomura 日本株インデックスを構成する銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスを見ると（図表4）、2007年8月は、4.52となり、2007年3月より続いたマイナス傾向からプラスに転じている。ただし、修正銘柄数自体は前月に比べ減少し、645銘柄（前月は1228銘柄）となっている。そのうち、上方修正銘柄数が357銘柄、下方修正銘柄数が288銘柄となり、上方修正の銘柄数が下方修正銘柄数を上回った。

図表4 リビジョン・インデックスとパフォーマンス



	リビジョン インデック ス	上方修正 銘柄数	下方修正 銘柄数
2007年08月	4.52	357	288
2007年07月	-8.56	547	681

（注）リビジョン・インデックスとは、（上方修正銘柄数－下方修正銘柄数）／有効銘柄数×100で算出される業績の修正動向を示す指数である。2007年8月の有効銘柄数は1,528銘柄。業績予想は野村及び東洋経済が予想する連結・経常利益を用いている。ここでは、母集団をRussell/Nomura日本株に含まれる全銘柄とし、月次の業績修正に基づいて算出している。

（出所）野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

2. 業種別パフォーマンス・レビュー

空運業、情報・通信業
のパフォーマンスが良
好

2007年8月は、Prime 指数において、空運業や情報・通信業の月次リターンが上位となった。また、前月パフォーマンスが悪化した電気・ガス業やサービス業なども上位にランクされた。一方、最もパフォーマンスが悪化したのは、非鉄金属、その他金融などであり、いずれも前月比10%台のマイナスのリターン水準となった（図表5）。

図表 5. Russell/Nomura 業種別パフォーマンス(上位・下位 10 業種)

指数	Prime	-5.53	Large Value	-6.30	Large Growth	-4.48	Small	-7.20
上位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 空運業	7.20	サービス業	6.22	電気・ガス業	10.43	パルプ・紙	0.99
	2 情報・通信業	4.35	不動産業	5.51	空運業	7.20	電気・ガス業	0.65
	3 電気・ガス業	2.85	情報・通信業	5.46	サービス業	6.75	医薬品	-0.47
	4 サービス業	1.66	金属製品	3.28	情報・通信業	6.09	陸運業	-1.62
	5 パルプ・紙	1.57	電気・ガス業	2.37	食料品	4.52	食料品	-3.41
	6 陸運業	1.45	パルプ・紙	1.04	陸運業	2.82	海運業	-3.84
	7 医薬品	0.52	化学	-1.36	精密機器	1.70	銀行業	-4.51
	8 精密機器	-0.12	陸運業	-2.51	医薬品	1.67	輸送用機器	-4.61
	9 金属製品	-0.70	建設業	-2.53	不動産業	-0.17	金属製品	-4.80
	10 食料品	-0.98	精密機器	-3.18	金属製品	-0.62	ゴム製品	-4.96
下位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 非鉄金属	-13.75	機械	-13.81	非鉄金属	-16.44	その他金融業	-15.04
	2 その他金融業	-12.99	卸売業	-12.56	保険業	-13.94	証券・商品先物取引業	-13.11
	3 水産・農林業	-12.47	その他金融業	-11.87	その他金融業	-12.69	非鉄金属	-12.80
	4 卸売業	-11.66	非鉄金属	-11.76	銀行業	-12.61	鉄鋼	-12.68
	5 鉱業	-11.51	石油・石炭製品	-11.29	鉱業	-11.67	石油・石炭製品	-12.11
	6 証券・商品先物取引業	-10.51	証券・商品先物取引業	-9.81	鉄鋼	-11.44	水産・農林業	-11.96
	7 銀行業	-10.46	輸送用機器	-9.69	繊維製品	-11.12	鉱業	-11.21
	8 石油・石炭製品	-10.43	銀行業	-8.80	証券・商品先物取引業	-10.90	精密機器	-10.38
	9 鉄鋼	-10.24	鉄鋼	-8.78	卸売業	-10.56	不動産業	-10.16
	10 機械	-8.75	ゴム製品	-8.13	ゴム製品	-9.74	機械	-9.47

(注) 単位は (%)。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

3. 個別銘柄パフォーマンス・レビュー

寄与度上位は、KDDI (9433)

ここでは、個別銘柄の各指数へのパフォーマンス寄与度をランキングし、その結果に基づき、上位・下位5社を示している(図表6)。なお、月次リターンは、円建てベースで示した。

Russell/Nomura Prime 指数を構成する銘柄のうち、KDDI (9433) の寄与度が高く、次いでエヌ・ティ・ティ・ドコモ (9437) となっている。これらの銘柄は、業種別パフォーマンス・レビューでも示した通り、業種全体のパフォーマンスにも貢献した。一方、マイナスの寄与度が大きかったのは、三菱UFJフィナンシャル・グループ (8306) であった。同銘柄の寄与度は0.397のマイナス、月次リターンは前月比-14.17%となっている。また、前月に引き続き、トヨタ自動車 (7203) のマイナス寄与も大きく、0.374%のマイナス寄与となった。

図表6 個別銘柄パフォーマンス寄与度上位・下位5社

Prime:-5.53%					Top:-5.94%				
上位銘柄	順位	銘柄	寄与度(%) リターン(%)		順位	銘柄	寄与度(%) リターン(%)		
			1	9433 KDDI			0.077	12.28	1
2	9437 エヌ・ティ・ティ・ドコモ	0.045	6.06	2	9437 エヌ・ティ・ティ・ドコモ	0.086	6.06		
3	7751 キヤノン	0.044	2.23	3	7751 キヤノン	0.084	2.23		
4	2914 日本たばこ産業	0.035	4.78	4	2914 日本たばこ産業	0.067	4.78		
5	9531 東京瓦斯	0.034	11.37	5	4503 アステラス製薬	0.064	5.92		
下位銘柄	1	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.397	-14.17	1	8306 三菱UFJフィナンシャル・	-0.754	-14.17	
	2	7203 トヨタ自動車	-0.374	-9.44	2	7203 トヨタ自動車	-0.711	-9.44	
	3	8411 みずほフィナンシャルグループ	-0.298	-15.20	3	8411 みずほフィナンシャルグル	-0.565	-15.20	
	4	8316 三井住友フィナンシャルグループ	-0.291	-17.04	4	8316 三井住友フィナンシャル	-0.552	-17.04	
	5	6758 ソニー	-0.281	-16.16	5	6758 ソニー	-0.534	-16.16	

Large-V:-6.3%					Large-G:-4.48%				Small:-7.2%			
上位銘柄	順位	銘柄	寄与度(%) リターン(%)		順位	銘柄	寄与度(%) リターン(%)		順位	銘柄	寄与度(%) リターン(%)	
			1	9508 九州電力			0.066	10.09			1	9433 KDDI
2	9437 エヌ・ティ・ティ・ドコモ	0.065	6.06	2	7751 キヤノン	0.097	2.23	2	3116 トヨタ紡織	0.022	9.03	
3	9432 日本電信電話	0.044	1.55	3	2914 日本たばこ産業	0.076	4.78	3	4544 みらかホールディングス	0.020	9.77	
4	9502 中部電力	0.043	3.68	4	4503 アステラス製薬	0.069	5.92	4	4541 日医工	0.015	18.59	
5	9503 関西電力	0.038	3.02	5	6367 ダイキン工業	0.063	10.30	5	9706 日本空港ビルデング	0.014	6.46	
下位銘柄	1	6758 ソニー	-0.665	-16.16	1	7203 トヨタ自動車	-0.738	-9.44	1	5541 大平洋金属	-0.145	-26.11
	2	8031 三井物産	-0.508	-19.57	2	8411 みずほフィナンシャルグル	-0.574	-15.20	2	6135 牧野フライス製作所	-0.070	-26.13
	3	7267 本田技研工業	-0.454	-14.88	3	8306 三菱UFJフィナンシャル・	-0.565	-14.17	3	6103 オークマ	-0.069	-15.30
	4	8058 三菱商事	-0.360	-12.99	4	8316 三井住友フィナンシャル	-0.520	-17.04	4	5444 大和工業	-0.067	-17.57
	5	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.324	-14.17	5	5405 住友金属工業	-0.300	-18.64	5	1332 日本水産	-0.064	-23.43

(注) リターンは円建て・配当込みのものである。

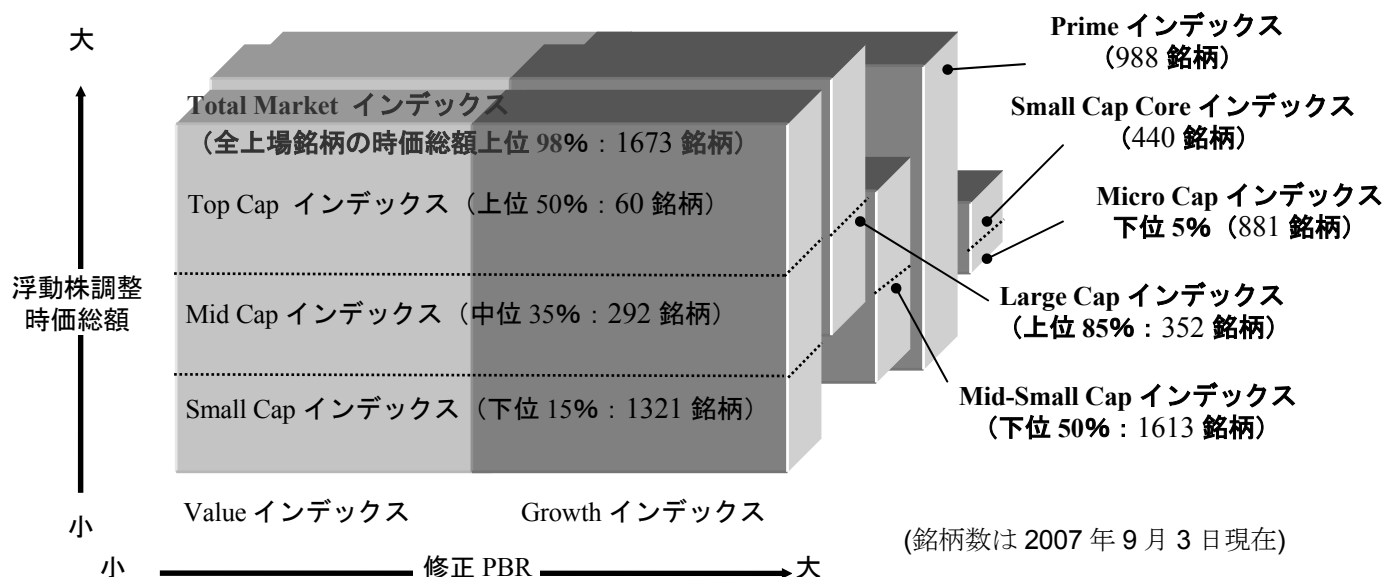
(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q&A Russell/Nomura 日本株インデックスについて

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスって何ですか？

A: Russell/Nomura 日本株インデックスは米国、フランクラッセルカンパニーと野村証券金融工学研究センターが共同開発した日本株式投資スタイルベンチマークです。



この他に 33 業種別インデックス (Total Market、規模別、Value、Growth、Prime) も用意されています。なお、規模別インデックスの分類指標は、安定持ち株控除後の時価総額です。Value/Growth インデックスの分類指標は、自己資本の含みを修正した修正 PBR です。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのルールブックはどこにありますか？

A: http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN_rule200707.pdf
をご覧ください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータを見たいのですが、どこで公表していますか？

A: 以下の情報端末でご覧いただけます。

Bloomberg	: RNJI
時事通信	: SQ21、SQ22、SQ23、SQ24
QUICK	: NRIJ500~504、510~517
REUTERS	: FRCNRI01、FRCNRI02、FRCNRI03、FRCNRI04
INTERNET	: http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html

なお、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からは、最新のインデックスリターン、構成銘柄、構成銘柄の変更などがご覧いただけます。

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータが欲しいのですが？

A: インデックスリターン、インデックス個別銘柄時価総額ウェイト、個別銘柄情報については、
<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からダウンロードできます。QUICK、REUTERS、Bloomberg
においても一部に限られますが、データを取得できます。それ以外に関しましては、下記の連絡先
にお問い合わせください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスについて英語の資料が欲しいのですが？

A: <http://qr.nomura.co.jp/en/frcnri/index.html> をご覧ください。

上記以外の Russell/Nomura 日本株インデックスに関するお問い合わせ先

徳野 明洋・平野 由美子：idx_mgr@frc.nomura.co.jp

電 話：03(3274)0924

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。